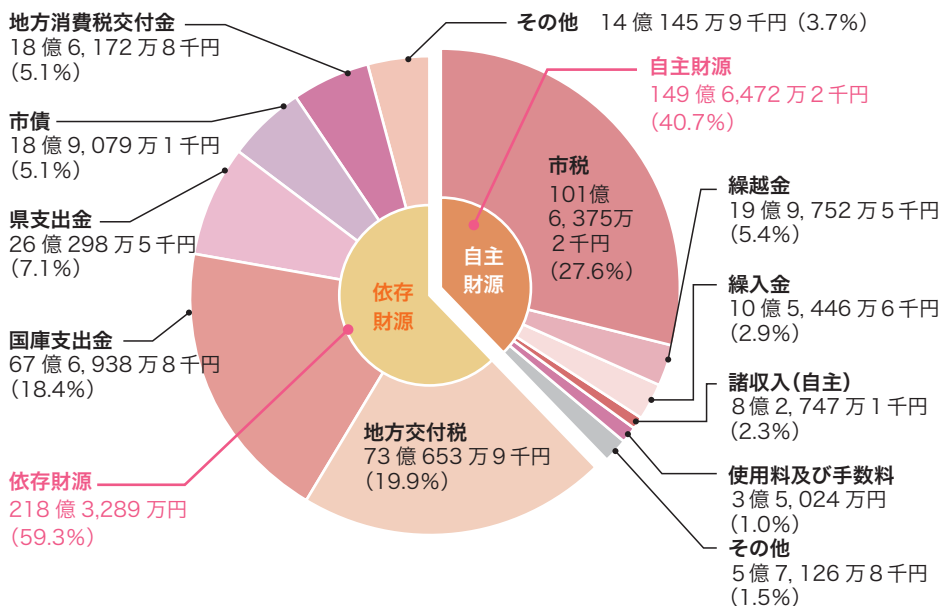


笠間市の 財政

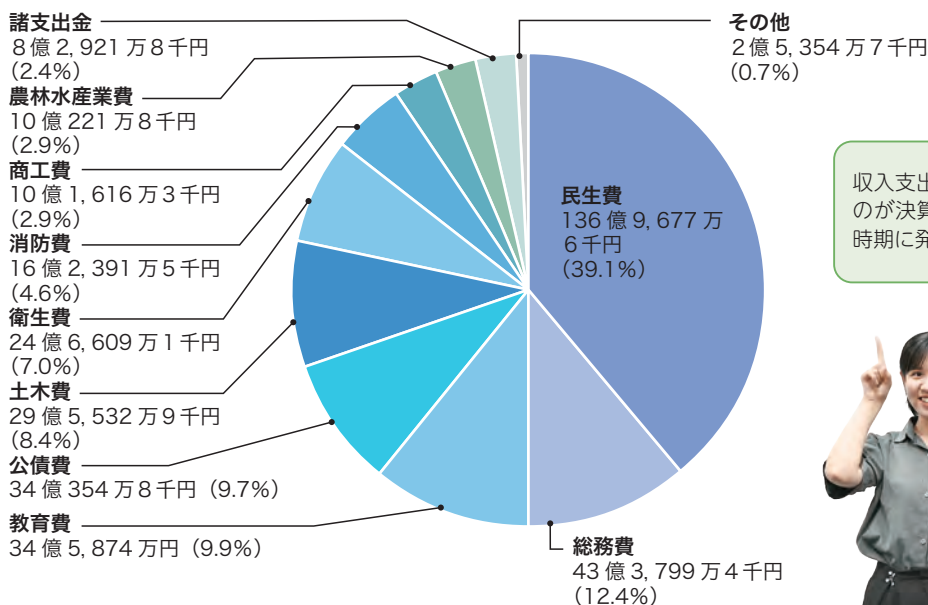
歳入 367 億 9,761 万 2 千円



令和 6 年度 決算報告

令和 6 年度の決算が笠間市議会にて認定されましたのでお知らせします。
皆さんから納めていただく市税をはじめ、国・県からの補助金や交付金などの収入を、医療や福祉、土木、教育など、市民生活の向上と住みよいまちづくりのために使っています。

歳出 350 億 4,353 万 9 千円



収入支出の結果を表すのが決算で、毎年この時期に発表しています

今年度入庁した新規採用職員が市財政について説明します



[一般会計の決算額]

歳入 367 億 9,761 万 2 千円

歳出 350 億 4,353 万 9 千円

差引 17 億 5,407 万 3 千円

基金の状況	一般会計	特別会計	計
	158 億 6,674 万 8 千円	15 億 8,964 万 1 千円	174 億 5,638 万 9 千円

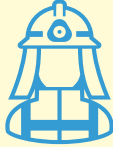
市債残高の状況	一般会計	企業会計	計
	271 億 2,861 万 8 千円	211 億 1,375 万 6 千円	482 億 4,237 万 4 千円

歳出額を市民 1 人あたりに換算すると

484,328 円

※令和7年3月31日現在人口(住民基本台帳)72,355人で算出

項目別によると

議会費 議会の運営など  3,504円	総務費 税金の賦課、 戸籍や住民登録の経費、 広報紙の発行など  59,954円	民生費 高齢者・障がい者・ 福祉対策・医療福祉など  189,300円	市の運営に関わる、さまざま な事業に支出していること がわかります 	
衛生費 予防接種や各種検診、 ごみ処理事業など  34,083円	農林水産業費 農林業復興支援や 農地の基盤整備など  13,851円	商工費 商工業支援や 観光施設管理など  14,044円		土木費 市道の整備・補修や 公園管理など  40,845円
消防費 消防団や防災施設の 整備など  22,444円	教育費 各小中学校や公民館・ 図書館の運営など  47,802円	公債費 市債の元金・利子の 返済  47,040円		諸支出金 病院・水道事業への 支払金など  11,461円

特別会計

【特別会計】は、保険料や使用料などの特定収入により、特定の事業を行う会計です



区分		歳入	歳出	差引
特別会計	国民健康保険特別会計	74 億 6,912 万 5 千円	74 億 2,833 万 4 千円	4,079 万 1 千円
	後期高齢者医療特別会計	11 億 7,188 万 9 千円	11 億 7,172 万 8 千円	16 万 1 千円
	介護保険特別会計	78 億 9,113 万 4 千円	76 億 4,646 万 6 千円	2 億 4,466 万 8 千円
	介護サービス事業特別会計	2,162 万 4 千円	1,977 万 6 千円	184 万 8 千円

企業会計	病院事業	収益的	9 億 140 万 8 千円	9 億 8,580 万 6 千円	▲ 8,439 万 8 千円
		資本的	8,399 万 1 千円	1 億 608 万 3 千円	▲ 2,209 万 2 千円
	水道事業	収益的	18 億 6,127 万 5 千円	16 億 2,559 万 9 千円	2 億 3,567 万 6 千円
		資本的	13 億 5,261 万 1 千円	13 億 2,110 万 5 千円	3,150 万 6 千円
	工業用水道事業	収益的	3,358 万 7 千円	2,600 万 4 千円	758 万 3 千円
		資本的	0 円	0 円	0 円
	下水道事業	収益的	22 億 3,456 万 8 千円	21 億 9,350 万 2 千円	4,106 万 6 千円
		資本的	17 億 4,587 万 6 千円	25 億 4,105 万 2 千円	▲ 7 億 9,517 万 6 千円

合併特例債の使い道



将来市が返済するお金のうち、70%が普通交付税で措置されます

合併特例債とは

新市建設計画に基づいた事業のうち、市の一体性の向上や、均衡ある発展や住民福祉の向上を実現する事業の財源として、合併特例債を活用しています。具体的には、旧市町を結ぶ道路や地域の発展に必要な駅周辺の整備、小中学校の耐震化、認定こども園や地域交流センターなどの施設整備など、市民生活に身近な事業に活用して、平成18年度から令和6年度までの19年間で約284億円を借り入れています。

これまでの使い道(令和5年度)

幹線道路や安居工業地域、消防庁舎の整備、最終処分場の建設、あたご天狗の森公園改修などに活用しました。

令和5年度は12億6,270万円を活用しました。

■道路整備事業

- 来栖本戸線……………1億730万円
- 笠間 PA スマート IC ……1,530万円

■都市整備事業

- 安居工業地域……………1億7,450万円

■その他

- 最終処分場建設……………1億7,250万円
- 工芸の丘整備……………1億1,560万円
- あたご天狗の森公園改修……………1億9,580万円
- 菊栽培所整備……………1,510万円
- 消防庁舎整備……………2億3,320万円
- 常備消防車両更新……………1億1,050万円

令和6年度の主な使い道

安居工業地域や消防庁舎の整備、市民球場整備などに活用しました。

令和6年度は7億5,180万円を活用しました。

■道路整備事業

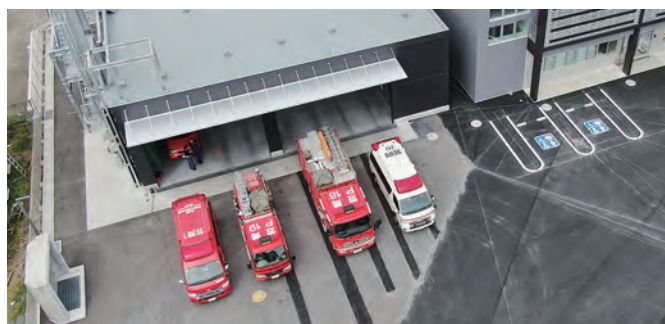
- 笠間 PA スマート IC ……5,400万円
- (仮称)鯉淵南友部線……………2,890万円

■都市整備事業

- 安居工業地域……………1億4,570万円
- 都市公園等施設整備……………1,050万円

■その他

- 消防庁舎整備……………2億1,080万円
- 工芸の丘整備……………1億8,240万円
- 菊栽培所整備……………2,820万円
- 市民球場整備……………1,560万円



岩間消防署



笠間工芸の丘 クラフトアートスペース



笠間工芸の丘 クラフトカフェ

これからの使い道

令和 7 年度

幹線道路や安居工業地域、市民球場整備などへの活用を予定しています。

■道路整備事業

○笠間PAスマートIC……………3 億 2,260 万円
○(仮称)鯉淵南友部線……………9,060 万円

■都市整備事業

○安居工業地域……………2 億 6,930 万円

■その他

○市民球場整備……………1,910 万円
○「笠間の栗」水田畑地化モデル……………4,020 万円
○まちづくり振興基金積立……………8 億 4,520 万円

令和 7 年度は約 16 億円の活用を予定しています。

令和 8 年度

幹線道路や笠間稲荷周辺の整備などへの活用を予定しています。

○(仮称)鯉淵南友部線……………8,550 万円

○笠間稲荷周辺まちづくり拠点整備……………4,590 万円



合併特例債活用事業

■道路整備事業

(単位：百万円)

事業名	事業年度	事業費	借入額
大淵飯田線	H18～H22	587.9	289.9
上町大沢線	H18～H25	497.9	303.0
南友部平町線	H18～R3	1,835.2	1,136.3
来栖本戸線	H19～R5	1,494.2	698.4
笠間小原線(桂町工区)	H22～H30	797.0	342.3
友部2級5号線	H25～R4	491.6	216.8
笠間PAスマートIC	R3～R7	1,027.2	426.2
その他の道路整備		7,092.2	3,598.8
小計		13,823.2	7,011.7

■都市整備事業

(単位：百万円)

事業名	事業年度	事業費	借入額
岩間駅周辺	H18～H24	2,368.3	1,641.2
友部駅周辺(地区道路)	H26～R2	343.5	249.2
多目的広場	H30～R3	802.0	752.1
安居工業地域	R1～R7	1,114.9	672.7
その他の都市整備		2,459.2	1,443.1
小計		7,087.9	4,758.3

※事業年度および事業費は起債対象のものを指します
※事業年度、事業費および借入額は予定を含みます

■学校等整備事業

(単位：百万円)

事業名	事業年度	事業費	借入額
友部中学校	H18～H19	805.5	589.0
岩間中学校	H20～H22	1,391.7	793.8
笠間学校給食センター	H23～H25	930.4	822.8
みなみ学園義務教育学校	H30～R2	1,056.7	750.6
その他の学校等整備		2,530.8	1,848.7
小計		6,715.1	4,804.9

■その他

(単位：百万円)

事業名	事業年度	事業費	借入額
まちづくり振興基金積立	H23～H26・R7	2,669.7	2,536.2
地域医療センターかさま整備	H27～H30	1,314.4	874.9
道の駅整備	H29～R3	2,769.4	2,134.8
最終処分場建設	R3～R5	1,366.1	931.4
消防庁舎整備	R3～R6	740.5	683.1
その他の事業		8,141.6	6,408.3
小計		17,001.7	13,568.7

※医療センターについては全体事業費約 19 億円のうち合併特例債対象のみ記載しています

合 計		44,627.9	30,143.6
-----	--	----------	----------

○合併特例債起債可能上限額……………約 322 億円
合併特例債借入(予定)総額……………約 276 億円
(まちづくり振興基金積立分は含まない)

○まちづくり振興基金への積立上限額…約 26 億 7 千万円
まちづくり振興基金への積立額……………約 26 億 7 千万円

※笠間市では、約 322 億円の合併特例債の活用が可能です。今後も財政状況等と照らし合わせながら真に必要なものに活用する方針です。

財政健全化法に基づく 財政指標の概要

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」に基づき、令和6年度の笠間市の健全化判断比率および公営企業の資金不足比率をお知らせします。令和6年度決算に基づき算定した結果、すべての比率で基準を下回っています。今後とも限られた財源の重点的かつ効率的な予算の配分を行うとともに、節度ある財政運営に努めていきます。



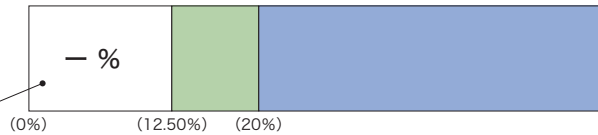
笠間市は赤字額がなく、かつ将来負担比率が算定されず、健全な財政運営が行われています

早期健全化基準の範囲
財政再生基準の範囲

笠間市の健全化判断比率

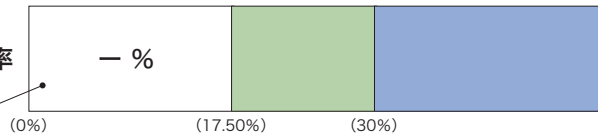
1 実質赤字比率

黒字ということ

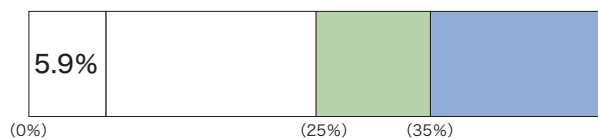


2 連結実質赤字比率

黒字ということ

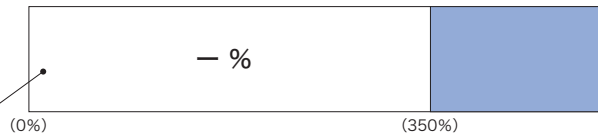


3 実質公債費比率



4 将来負担比率

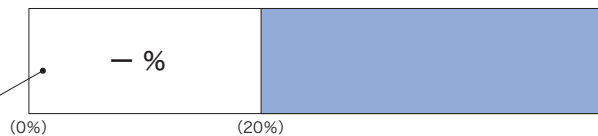
将来財政を圧迫する可能性がないということ



笠間市の公営企業の資金不足比率

5 資金不足比率

資金不足がないということ



早期健全化基準：早期健全化団体に移行する基準。早期健全化団体になると、財政健全化計画を定めて財政の健全化に向けた取り組みを行うことになります。

財政再生基準：財政再生団体になる基準。財政再生団体になると、財政再生計画を定めて財政再建に取り組むことになります。また、総務大臣の許可がなければ地方債の借入れができなくなります。

【用語の解説】

1 実質赤字比率

普通会計（一般会計）の赤字の程度を指標化し、財政経営の悪化の度合いを示すものです。笠間市の決算額は黒字であるため「0%」と表示しています。

2 連結実質赤字比率

全会計（一般会計＋特別会計等）の赤字や黒字を合算し、笠間市全体としての財政経営の悪化の度合いを示すものです。笠間市の連結決算額は黒字であるため「0%」と表示しています。

3 実質公債費比率

借入金（地方債）の返済額およびこれに準ずる額の大きさを指標化し、借入金の返済による財政負担の程度を示すものです（全会計＋笠間市地方広域事務組合などの一部事務組合などが対象）。

4 将来負担比率

一般会計などの借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。笠間市の将来負担比率は算定されないため「0%」と表示しています（全会計＋一部事務組合＋第三セクターなどが対象）。

5 資金不足比率

病院事業など各公営企業会計の資金不足の程度を指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものです。公営企業に資金不足額はありませんが「0%」と表示しています。